



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第43回例会(6月9日)
平成29年6月16日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例会場 同上 TEL(651)1111(代)
例会日 毎週金曜日12時30分～

会長 駒木 進
幹事 海野 尚
会報 熊谷 隆司
クラブ事務局 TEL(653)5682
FAX(653)5622

ROTARY SERVING HUMANITY. '人類に奉仕するロータリー'…… ジョン F ジャーム

会員卓話



『笑い与健康』

(株)荒川商店 代表取締役社長
荒川 鉄平君

「笑い」には免疫力を高めるなどの効果があるとされるが、がんで治療中の患者に漫才や落語などを見せて、よい影響があるかを科学的に検証する研究が大阪国際がんセンター（大阪市中央区）で始まった。吉本興業や松竹芸能、米朝事務所と協力。5月から約4カ月間、外来患者らに漫才や落語で笑いを提供し、免疫細胞の活性状況などを調べる。というニュースがありました。

ここで疑問。

確かにお笑いを聞くだけの人はストレスが分散され健康に良いかもしれないが、笑わせる側はどうしたら笑ってもらえるかを色々考えるのでストレスが溜まり健康に良くないのでは？

私もこの卓話の準備のために結構ストレスが溜まりました（笑）。

ということで、昨年5月の新入会員卓話以来1年ぶりですが、厭きのこないように小喃を挟みながらお話しをしたいと思いますので、面白くてもまた大して面白くなくても健康のために、是非笑いながら聞いてください。

話の中で、不適切だったり失礼な表現が出てくるかも知れませんが、落語の話題ということに免じてお許しいただき、しばらくの間お付き合いください。

以前の卓話でもお話しさせていただきましたが、私は上がりやすいたちで、人前で話をするのがとても苦手なんです。特に自分よりイケメンや美人の前では上がってしまって何にも言え

ません。今日はスラスラしゃべってますが…（笑）。

既にご存知の方も多いかと思いますが、ここで改めて自己紹介をさせていただきます。

名前は荒川鉄平と申します。

「鉄平」の名前の由来ですが、私の祖父が一時函館に住んでいたことがあり、北海道屈指の豪商として知られる「相馬哲平」にあやかって名付けたそうです。

家族は妻と子供4人で、長男は今年から岩手医大の医局勤務で、昨年11月に初孫が生まれました。ずっと孫自慢を聞かされていた同い年の藤村文昭君には、これでなんとか追いついたかなと思っております。

長女はJR東日本盛岡支社に勤務しておりその同僚と今年結婚し、次女は昨年より遠野小学校で教員をしております。三女は筑波大学4年生ですが、荒川家の方針に基づき岩手の企業に勤めたいとのことで就職活動のため帰省中です。

ちなみに妻は結婚前にはテレビ岩手に勤めておりました。

趣味は「落語」、「読書」、もう一つは100をたまにしか切れない「ゴルフ」です。学生時代は落語研究会、通称「落研」に所属、その時の先輩にテレビ岩手の「笑点」でお馴染みの6代目の円楽がおります。

読書は最近「袖月裕子」にはまっています。警察や検察物を得意とし、岩手県出身で昨年直

木賞にノミネートされた美人作家で、最新作の「慈雨」はお勧めです。今年か来年には直木賞間違いないと思っております。

仕事は(株)荒川商店という不動産賃貸業の会社を経営しています。

11年前までは「家具の荒川」という家具小売店をしており、最盛期は岩手県内に9店舗、社員100人を有する家具業界では東北でも有数の会社でした。

他の業界と同様、20年くらい前から「ニトリ」や東京インテリア、そしてイケア等大型店の出店で全国の家具小売業は壊滅状態に陥りました。

その頃盛和塾の稲盛和夫塾長の「一刻も早く不採算事業から撤退をし、新規事業へ転換しなさい。」というアドバイスもあり、以前から不動産賃貸業も兼務していたので、当時の社員や在庫を県内の家具小売店に譲渡して、完全に不動産賃貸業へと業態転換を図りました。

それにより今まで家具小売店舗のあった郊外の土地には「ユニクロ」やコンビニなど全国チェーンをテナントにした店舗を建設し、県内の中心市街地や住宅地にあった土地は駐車場、そして賃貸住宅へと土地活用をしており、現在に至っています。

ここからは落語についてのお話です。

ここで、小噺 1. 2. 3.

次に、落語の登場人物の解説

またまた、小噺 4. 5. 6. 7.

その次に、落語の小道具「扇子と手拭」についての解説

さらに、小噺 8. 9. 10. 11. 12. 13.

「落語とは人間の業の肯定である。 立川談志」

ここからは立川談春の「赤めだか」より立川談志の言葉をそのまま引用します。

談春が中学生の頃に友人たちで行った寄席で談志の落語を聞いた時に、彼らに向かって言っていた言葉だそうです。

「あのね、君達にはわからんだろうが、落語っていうのは他の芸能とは全く異質のものなんだ。どんな芸能でも多くの場合は、為せば成るといのがテーマなんだな。一所懸命努力しなさい、勉強しなさい、練習しなさい。そうすれば必ず最後はむくわれますよ。良い結果が

すよとね。

忠臣蔵は四十七士が敵討ちに行って、主君の無念を晴らす物語だよな。普通は四十七士がどんな苦勞をしたか、それに耐え志を忘れずに努力した結果、仇を討ったという美談で、当然四十七士が主人公だ。スポットライトを浴びるわけだ。でもね、赤穂藩には家来が300人近くいたんだ。総数の中から47人しか敵討ちに行かなかった。残りの253人は逃げちゃったんだ。

まさかうまくいくわけがないと思っていた敵討ちが成功したんだから、江戸の町民は拍手喝采だよな。そのあとで皆切腹したが、その遺族は尊敬され親切にされただろう。逃げちゃった奴らはどんなに悪く云われたか考えてごらん。理由の如何を問わずつらい思いをしたはずだ。

落語はね、この逃げちゃった奴らが主人公なんだ。人間は寝ちゃいけない状況でも、眠きゃ寝る。酒を飲んじゃいけないと、わかっているもつい飲んじゃう。夏休みの宿題は計画的にやった方があとで楽だとわかっているも、そうはいかない。8月の末になって家族中が慌てだす。それを認めてやるのが落語だ。

寄席にいる周りの大人をよく見てみる。昼間からこんなところで油を売ってるなんてロクなもんじゃねえヨ。でもな、努力して皆偉くなるんなら誰も苦勞はしない。努力したけど偉くならないから寄席に来てるんだ。

『落語とは人間の業の肯定である』。よく覚えておきな。教師なんてほとんど馬鹿なんだから、こんなことは教えねえだろう。嫌なことがあったら、たまには落語を聴きに來いや。あんまり聴きすぎると無気力な大人になっちゃうから、それも気をつけな。」

清く、正しく、美しくあること。清廉潔白であること。正直で、寛容で、鷹揚で、誠実で、義理堅く、情に厚く、仁義を重んじること。世の為、人の為、汗水たらして働くこと。世間というものは、うっすらと、時に明確にそういうものを求めてきます。別にそれが悪いわけではなく、そうありがたい。少しでもそっちの方へと近づきたいとは思いますが、でも、それがなかなか出来ない。他人にやさしくありたいと思っただって、ストレスたまってイラついている時には、不機嫌な顔になりますし、ついつい大きな声が出たりもします。ヤケ酒を飲んで、悪酔い

をして、無駄に絡んでしまったりもする。

人間には、罪の贖いというか、業の肯定というか、元々持っているろくでもなさ・やってしまったことなんかを「まあ、しょうがない。」って言ってもらえる場所が必要な気がします。

反省することは大事です。でも、罪悪感や後悔を持ち続けても誰も幸せにはなりませんし、誰も得をしません。

「やっちゃったことはしょうがない。終わったことはしょうがない。あなたのしたことは許すから、もうクヨクヨすんな。大丈夫だから頑張れよ。頑張り過ぎない程度にさ。」

天才落語家と言われた立川談志は、欠点だらけの人間の生きざまを描くのが、本質として「落語とは人間の業の肯定」と唱え、卓越した心理描写で語っていた。人間の業なんて早く言うとも「何しててもいい。」そういうことなんです。それも人間だから、これも人間だもん。喜怒哀楽、悪事善行、すべて許される。

生きている人間なのだから。

そして、それが落語なんです。

ここで小断 14. 15.

ここでお願いします。

私が会長をしている年に一度の盛岡落語研究会の落語会は今回が3回目となりますが、10月9日(祝日)おでつてホールにて13時開演で「入船亭扇辰、小辰」の親子会を、チケット2千500円で販売しますので、今のうちから日程の調整をお願いします。ちなみに今日チケットを持参しております。

明日10日は「チャグチャグウマッコ」ですが、このイベントは毎年なぜか晴天なんですよ。それには理由がありまして、雨が降ると「グチャグチャコマツタ」になるから…(笑)。

最後をなぞかけで締めくくって終わりたいと思います。

盛岡ロータリークラブとかけまして

日本ハムの大谷翔平が満塁ホームランを2本打った時と解く

そのころは

どちらも発展(8点)間違いなし!

ご清聴ありがとうございました。

例 会 報 告

第43回例会
平成29年6月9日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司 会 駒木 進会長
- ・ソング 我らの生業
- ・四つのテスト斉唱
- ・会長報告 駒木 進会長
- ・ゲスト タンバンペンストン シラナットさん(2017-18年度 米山記念奨学生)
- ・皆出席バッチ 藤村文昭君(21年)。
- ・入会祝 金子眞也・藤村吉隆君。
- ・誕生祝 金子眞也君。
- ・結婚祝 金子眞也・塚田幸志君。
- ・幹事報告 星 克彦副幹事

【ニコニコBOX】

- ◆金子眞也君…新入会員の金子です。大変失礼しております。本日、久しぶりに出席させて頂き、また、楽しい卓話にニコニコさせて頂き

ました。私ごと、矢巾店の社屋増築、紫波店の移転新築、母宅の新築、母の脊椎手術、紫波店旧社屋の売却と忙しく盛岡ロータリーの皆様には大変申し訳ありませんでした。高齢で要支援の母の世話の都合もあり、皆様に失礼が続くかも知れませんが、“笑い”をもって出席できるようにしたいと思えます。久しぶりの例会にニコニコします。

◆岩野法光君…食事のおいていない席がありました。案の定、私のための特別メニュー用の席でした。寅年生まれの子。理由はいつか卓話の時にお話しします。

◆工藤博司君…楽しみにしていた旅行会「南部家ゆかりの地と米山梅吉記念館を訪ねる旅」に家内と共に参加致しました。山梨県南部町では、南部氏初代光行公一族を町長さんはじめ町会議員の方々が心から大切に思っておられ、その熱意の強さに感動致しました。また、思いがけずも、南部町出身で、独自の水墨画を編み出し、新たな

歴史を築いた近藤浩一路画伯の記念美術館を見学でき、名画を鑑賞できましたことも大きな喜びでありました。色々お心遣い頂きました南部様ご一家をはじめ、すばらしい企画をして頂きました駒木会長ご夫妻、海野幹事さん、坂本宮司様ご夫妻、そして田中次期ガバナー並びにご同行の会員ご夫妻に心から感謝申し上げます。すべては昭和45年頃、当クラブの先人の方々が南部町を訪問し、色々支援されたことが契機となったことを知り、ますます盛岡クラブのすばらしい偉業に思いを致しました。

●メークアップ

水沢東R.C.=長澤君。地区=平井・三田・工藤(幸)君。盛岡北R.C.=勝部・川村(登)君。盛岡南R.C.=熊谷(祐)君。盛岡中央R.C.=橋本君。クラブ委員会=伴・金沢・長野・岡村・坂本・吉田(育)・作田君。

〈エッセイ〉 私の釣り暦 熊谷隆司君

24才の時、今年こそはと臨んだ司法試験の短答式に落ち、9月までは何もする気になれず、岩手県一関市千厩町の実家に引っ込んで一夏を過した。故郷の町は小さな町で何もすることがない。退屈しのぎに、子供の頃釣りをしたことを思い出し、安竿を買って、近くの千厩川や砂鉄川でハヤ釣りを始めた。雨が降らない限り、川に出掛ける毎日が一ヶ月以上続いた。大学を卒業したい大人が毎日釣り三昧である。狭い町のことだから近所の人の目もあったことだろう。けれども、母は一言も小言を言わなかった。川面に竿を持って立つとつまらない雑念が吹っ飛んだ。こうして私と釣りとの付き合いが始まった。

それから40年程になる。その間、鮎のドブ釣り、友釣りをやり始め、盛岡に帰って来てからは、山女魚も始めた。海釣りも一、二度してみたが、釣果が船頭任せのうえ、船酔いもするので、それっきりになってしまった。また、鯉釣りのような一箇所に腰を落着けた待ちの釣りも自分の性分に合わず、結局、川釣りだけとなった。

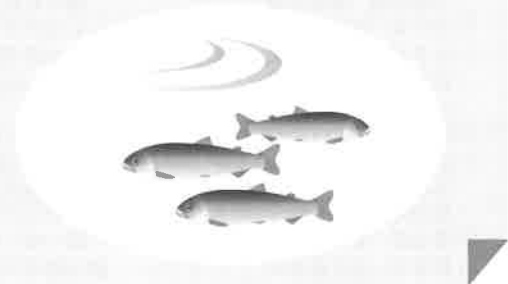
私の釣り暦は、春は山女魚、夏は鮎である。川釣りをする人を大別すると、釣れなければ面白くないという釣果重視派と、川に竿を出し自然に親しめれば満足という自然派とに分けられる。私は、山女魚の場合は自然派、鮎の場合は釣果重視派である。理由は簡単である。春の山里の川を釣り歩く山女魚釣りは、春の息吹きや新緑の美しさを肌で感じられるだけで満足なのであり、鮎の場合は、風景よりも鮎とのやりとりが面白く、釣ること自体に夢中になってしまうからである。従って、釣

果を重んずる鮎釣りは、たかが釣りではあるが、「川に喰らいつく」というつもりで気迫を込めて釣りをすることになる。不思議なことに、このような気迫がないと鮎はあまり釣れない。しかし、釣果重視と言っても、釣果にだけこだわり、心に遊びがなくなると、釣りはガツガツした貧弱なものになってしまう。

井伏鱒二氏の釣りに関する随筆などを集めた「川釣り」という本がある。その巻頭に、「溪流」という題で次のような詩が載っている。

「今日はさっぱり釣れない/をとりの鮎も/一びき曳きころし/一びきは逃がした/でも釣りたい/絲のさきに/石ころをむすびつけ/かうして釣る真似をする/ごつごつ ごろごろ/まさに手應へがある/カハセミのやつ/羨ましそうに見てゐるぞ」

この詩を読む限り、氏の釣りの腕前はそれほどではなかったらしい。が、釣れなくても氏の釣りには遊びの心がある。私は、自分の釣りがガツガツとしたときや、釣果が貧弱だったときは、この詩を思い出す。どうやら、鮎を取り込む腕前と釣りから楽しみを取り込む腕前とは別物らしく、氏の「川釣り」という本は、後者についての座右の書になっているのである。



出席報告 □ 会員数 / 75 名 □ 出席数 / 45 名 □ 出席率 / 61.42% □ 前回回修正出席率 / 77.46%

・6月16日(金) 第4回クラブアッセンブリー
 プログラムの 22日(木) ターミネートパーティー (23日例会変更)
 お知らせ 於: グランドホテル
 30日(金) 特別休会

●本号編集担当 / 長谷川 桂
 ●次号編集担当 / 橋本 孝史